

# Japanese parturient body mass index and the role in initial nerve block height of women undergoing cesarean delivery with spinal anesthesia

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三好, ふたば メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032808">https://doi.org/10.20780/00032808</a>

# 学位論文の要旨

Japanese parturient body mass index and the role in initial nerve block height of women undergoing cesarean delivery with spinal anesthesia  
帝王切開を受ける日本人女性の BMI は脊髄くも膜下麻酔の初期麻酔高に影響を与える

東京女子医科大学大学院

外科系専攻麻酔科学分野

指導：長坂安子教授<sup>Ⓔ</sup>、野村実教授<sup>Ⓔ</sup>

三好 ふたば

Medicine 2020 Jun 5;99:23(e20584)に掲載

## 【要 旨】

2014年1月1日から2018年12月31日までの間に東京女子医科大学病院で帝王切開を施行した患者を対象とし、麻酔記録及び診療録から後方視的にデータを調査した。脊髄くも膜下麻酔をL3-4椎間腔から施行し、0.5%高比重ブピバカインを使用し、手術直前の麻酔高、手術直前BMI、妊娠週数、児体重が記録されている401人を対象とした。手術直前の麻酔高がTh6以上の高位のものをAdequate analgesia level群、それよりも低位のものをInadequate analgesia level群と定義した。術直前BMI23以上と23未満、妊娠37週以上と37週未満、児体重2500g以上と2500g未満で2群に分類した。結果は手術直前BMI( $P=0.020$ )、妊娠週数( $P=0.032$ )、児体重( $P=0.045$ )と有意差を認めた。このうち手術直前BMI $<23$ で $P=0.043$ 、リスク比1.476(95%信頼区間1.036-2.103)、妊娠週数 $<37$ で $P=0.005$ 、リスク比1.765(95%信頼区間1.225-2.541)、児体重 $<2500$ で $P=0.005$ 、リスク比1.633(95%信頼区間1.194-2.235)であった。BMIが23以下、妊娠週数が37週以下、出生体重が2500g以下の場合、脊髄くも膜下麻酔直後の麻酔高がTh6まで達しないリスクがある。